

指導監督的実務経験で特定建設業の専任技術者(又は監理技術者)になる場合に必要となる証明書

# 指導監督的実務経験証明書

下記の者は、**内装仕上** 工事に、下記の元請工事について指導監督的な実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和3年 4月 1日

◎「特定建設業」の許可を受けようとする場合で、建設業法第15条第2号ロに該当することにより「専任技術者」(又は監理技術者)になる場合に作成する(指定建設業は不可)

◎「法第15条第2号ロ」とは  
許可を受けようとする業種について、法第7条第2号イ、ロ、ハのどれかに該当し、かつ1件の請負代金が4,500万円以上(H.6.12.28前は3,000万円以上、S.59.10.1前は1,500万円以上)である発注者から直接請け負った工事に、2年以上の指導監督的な実務経験を有する者

◎指導監督的実務経験とは  
建設工事の設計又は施工の全般について、工事現場主任又は工事現場監督者のような資格で工事の技術面を総合的に指導監督した経験

福島市渡利〇〇〇〇  
東北地方建設株式会社  
代表取締役 東北太郎

(作成担当者: 木村 達 024-612-XXXX)

元雇用主

許可申請者と証明者が違う場合は、証明者の下に「作成担当者の氏名及び連絡先」を明記すること。必要に応じて、直接、証明者に対し、証明者の意思表示であることを確認します。

証明者

被証明者との関係

実務経験証明書(様式第九号(第三条関係))記載例と同様

技術者の氏名	東北 八郎		生年月日	S. 3 5 . 5 . 5	使用された期間	S. 5 8 年 4 月から H. 1 9 年 3 月まで
使用者の商号又は名称	東北地方建設株式会社					
発注者名	請負代金の額	職名	実務経験の内容		実務経験年数	
山田 一郎	50,000 千円	工事課長	山田邸床仕上げ及び壁塗り工事		13年 4月から13年10月まで	
〇〇県	54,000 千円	〃	県立図書館防音工事		13年11月から14年 3月まで	
〇〇省	47,000 千円	〃	庁舎内装工事		14年 7月から14年11月まで	
〇〇省	50,000 千円	〃	独身寮内装工事		15年 6月から15年12月まで	
〇〇株式会社	51,000 千円	〃	〇〇株式会社社屋内装工事		16年 1月から16年 6月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由						合計 満 2 年 1 月

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成し、請負代金の額が4,500万円以上の建設工事(平成6年12月28日前の建設工事にあつては3,000万円以上のもの、昭和59年10月1日前の建設工事にあつては1,500万円以上のもの)1件ごとに記載すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が従事した工事現場において就いていた地位を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した元請工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。